

男女ともに生きやすい 社会を考える

男女平等・男女共同参画をすすめ、男女がともに生きやすい社会をどのようにつくるかを考えます。

日時 **2019年2月9日(土)**
13:30~16:50
会場 **群馬県公社総合ビル**
前橋市大渡町1-10-7 ☎027-255-1166

参加費無料
定員 250名

基調講演：「男性学の視点から男女共に生きやすい社会を考える」

講師 田中 俊之さん（大正大学心理社会学部准教授）

シンポジウム：「男女ともに生きやすい社会を考える」

シンポジスト 田中 俊之さん（大正大学心理社会学部准教授）
雅楽川陽子さん（有限会社COCO-LO代表取締役）
大森 昭生さん（共愛学園前橋国際大学学長）
唐澤 忍さん（連合群馬女性委員会事務局長）
コーディネーター 関口 雅弘さん（上毛新聞社取締役編集主幹・論説担当）

基調講演講師 大正大学心理社会学部准教授

プロフィール 田中 俊之（たなか としゆき）さん

1975年、東京都生まれ。男性学を主な研究分野とする。著書『男性学の新展開』青弓社、『男がつらいよ—絶望の時代の希望の男性学』KADOKAWA、『〈40男〉はなぜ嫌われるか』イースト新書、『男が働かない、いいじゃないか！』講談社プラスα新書、小島慶子×田中俊之『不自由な男たち—その生きづらさは、どこから来るのか』。

「日本では“男”であることと“働く”ということとの結びつきがあまりにも強すぎる」と警鐘を鳴らしている。



主催：一般財団法人 群馬県地方自治研究センター TEL:027-253-4784

共催：自治労群馬県本部

後援申請：連合群馬・群馬県・群馬県市長会・群馬県町村会・上毛新聞社

シンポジスト プロフィール



有限会社 COCO-LO 代表取締役 雅楽川陽子（うたがわ ようこ）さん

群馬県桐生市生まれ。作業療法士として病院等の勤務を経て、29歳の時に人脈も資金もない状況で、有限会社 COCO-LO を起業。訪問の依頼はあっても働く人がいないという超人材不足に悩むが、キャリア支援とワークライフバランスの制度を導入し、求人が増えていった。その仕組が認められ、全国的な表彰を数多く受け、経営も年々増収。個人では内閣府より平成27年度女性のチャレンジ賞を受賞。



共愛学園前橋国際大学 学長 大森 昭生（おおもり あきお）さん

1968年仙台市生まれ。東北学院大学大学院文学研究科修了。1996年共愛学園に着任。共愛学園前橋国際大学国際社会学部長、副学長等を経て、2016年より現職。群馬県男女共同参画推進委員会会長等、地域における各種公的委員を務め、各地での講演多数。3児の父で、二人目・三人目の出産に際し育児休業を取得。群馬県男女共同参画社会づくり功労者表彰（2018）。全国の大学長が注目する学長ランキング3位（『大学ランキング2019』）。



連合群馬女性委員会 事務局長 唐澤 忍（からさわしのぶ）さん

群馬県吾妻郡出身。ちょっとした海外放浪生活と吾妻郡の高校、中学校での臨時教諭を経験した後、正規教諭として採用され渋川市中学校に赴任。初任校での組合員との出会いがきっかけで採用2年目に群馬県教職員組合に加入。それ以降、渋川市、吾妻郡、北群馬郡の中学校、前橋の高校で生徒たちとともに学んだ。2017年度、教職員組合の専従役員に。群馬県教職員組合と連合群馬の女性部等に携わらせていただき今に至る。

コーディネーター プロフィール

上毛新聞社 取締役 編集主幹・論説担当 関口 雅弘（せきぐち まさひろ）さん

1958年、高崎市生まれ。慶應義塾大学法学部卒業後、上毛新聞社に入社し、報道部政治担当デスク、上毛新聞社労働組合委員長を歴任。その後、同社編集局報道部長、役員室長、総務局長、編集局長を歴任。



公開シンポジウム参加申込書 fax:027-290-1099

氏名	
所属(又は住所)	
連絡先	
参加する項目	基調講演 シンポジウム 両方